

# 「人」「自然」「食」を学ぶ北海道の総合学科 ～北海道標茶高等学校～

総合学科としての共通性  
総合学科の趣旨  
↓  
学校の教育目標  
↓  
具体的な方策

## 総合学科の理念

- ・ 職業選択のための進路意識醸成を重視
- ・ 個性を生かした主体的な学習による成就感体験を重視
- ・ 単位制や学校外の学習成果の単位認定等による教育課程の弾力化
- ・ 多様な入試、履修科目の自由な選択及び多面的な評価等による脱偏差値教育

## 学校の教育目標

- 1 確かな学力を身に付け、主体的で豊かな人間性を持った生徒を育てる。
- 2 不撓不屈の精神で挑戦し、新しい時代を拓く力を持った生徒を育てる。
- 3 地域の環境に学び、いのちを尊び、社会の発展に資する生徒を育てる。

## 本校が重視する生徒の資質・能力

- 1 「いのち」の価値を中核とする「在り方」の学び(新3系列)
- 2 自ら課題を見つけ、人との関わりの中で解決する意欲や、技能、表現力(アクティブ・ラーニング)
- 3 相手意識、目的意識等の伴ったコミュニケーション能力(インタープリアー教育)

## 資質・能力を身に付けさせる具体的な方策

- 1 「農業と環境」全員履修、3年間を見通して身に付ける資質・能力の明示  
(1) 畑作、水質検査等の体験、「食」「環境」に関する実体験と研究報告体験  
(2) 「産業社会と人間」を基本に全ての科目や行事で、目指す資質・能力を明示(シラバス、行事評価票)
- 2 3年間を見通したキャリア科目(「産業社会と人間」→「自己探究(総合的な学習の時間)」→「課題研究(総合的な学習の時間)」)における確実な習得
- 3 地域おこしやボランティア活動等の地域行事への提案型参加、生徒による出前授業、ボランティアリーダー、地域の自然体験学習会の企画運営など主体的な取組による質の高いコミュニケーション能力の習得

## キャリア教育の重点<基礎的・汎用的能力>

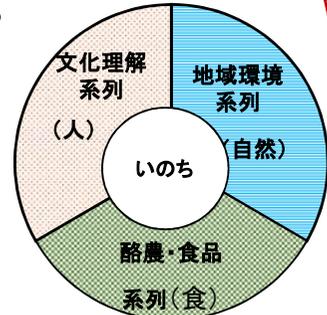
- 1 人間関係形成・社会形成能力
- 2 自己理解・自己管理能力
- 3 課題対応能力
- 4 キャリアプランニング能力

## 本校の外部・内部要因(+、-)

- <外部要因> +豊かな自然(湿原の40%保有・豊富な森林資源、湖沼、温泉など)、酪農地帯、アイヌ文化、多彩な人材、  
-観光未開発地、離農、人口減少、酪農と環境問題、エゾシカによる食害問題、希少生物の保護
- <内部要因> +日本一の敷地面積、農業施設・設備、教育課程の柔軟な編成・実施、若い教師集団による意欲的・積極的教育実践、豊富な体験活動の素材  
-他校経験者の不足、受検者数減少による教職員定員の縮減、多彩な選択科目や行事の展開が困難

## <「いのち」を巡る「人」「自然」「食」について学ぶ3系列>

- 系**
- **文化理解系列**: 日本及び諸外国の文化や、福祉、食などの生活文化等に係る学習を通して、文化や社会状況の多様性について理解を深め、違いを超えて人と人をつなげる態度や能力(多文化リテラシー)を身に付ける。  
<地域のグローバル化推進>
  - **地域環境系列**: 北海道の自然環境の現状、価値、保全の方法、また、食の「安心・安全」等について、地域の環境素材を生かした体験的な活動を通して理解を深め、実践力、表現力を身に付ける。  
<北海道の価値=自然環境を守る・生かす>
  - **酪農・食品系列**: 地域の基幹産業である酪農、北海道や標茶近隣の食材を活かした食品加工や食品開発、6次産業化理解のための実習等により農業経営の基礎的、基本的な知識・技術を身に付ける。  
<北海道の価値=安心・安全な食を支える産業理解>



## 3年間を見通した生徒像実現のためのロードマップ

<b>1年次「産業社会と人間」</b> ・自己を理解する ・職業、上級学校を知る ・インタビュー、壁新聞等の表現活動 ・プレゼンテーション研修 ・進路と科目選択を考える シラバスの活用	<b>2年次「自己探究」</b> (総合的な学習の時間) ・自己、他者を理解する ・マナー、接遇の理解 ・5日間の全員インターンシップ ・進路探求 ・進路と科目選択について考える	<b>3年次「課題研究」</b> (総合的な学習の時間) ・課題を設定し、解決を図る実践 ・主体的、協働的学習の重視 ・各系列で提供した課題と目指す生徒像実現にかかる総合評価 ・地域への成果発表
--	---	--

## 本校のキャリア教育推進の具体的な方策

- 1 SEG、Q-U検査、ほっとの活用による生徒理解、生徒の自己理解推進、宿泊研修での人間関係づくり体験、ピア・サポートの導入、プロジェクト活動や課題研究における協働体験による人間関係形成力の向上
- 2 販売実習、5日間の全員インターンシップ、地域事業への参加等による他者と関わる体験による責任感、達成感、自己有用感、社会体験、失敗体験等による自己理解の深化、自身のコントロール力の向上
- 3 3年間を見通したキャリア科目による課題設定、課題解決のための計画的なスキルアップ、各教科・科目での言語活動、アクティブラーニングの積極的導入(授業改善)による課題解決力の向上、さまざまな体験的な学習を通じて「知識」を「活用できる知恵(確かな学力)」として定着
- 4 3年間を見通したキャリア科目による在り方、生き方の考察とプランニングスキルの習得並びに地域等との関わりにより育まれる自己有用感を

## 地域の特色を生かした主な取組

◎=地元の特色を生かした取組 ○=北海道の特色を生かした取組

### ◎国際理解教育

- ・ 英語プレゼンコンテスト
- ・ 英語スピーチコンテスト
- ・ 外国クルーズ船おもてなしボランティア
- ・ 地域国際観光光化プロジェクト
- ・ 海外高校生交換派遣



### ◎異校種連携

- ・ 小学2年生対象ミニトマト活用
- ・ 特別支援学校春・秋季合同学習会



### ◎エゾシカの徹底活用

- ・ 角、革の加工、骨格標本作り、肉の調理研究
- ◎生乳等を用いた商品開発
  - ・ アイスcreamの新商品
  - ・ ミニトマトを用いた飲むヨーグルト
- ◎北海道環境素材を生かした学習活動
  - ・ 河川、湿原、自然ガイド、タンチョウなど



### ◎高校生出前授業

- ・ 小学3年生対象食育授業
- ・ 小学5年生対象英語活動環境学習

### ◎地域での販売実習

- ・ 地域合同の販売会、他地域での標茶町紹介物販
- ◎地域ボランティア活動
  - ・ 地域社会教育事業のリーダー、清掃活動、植樹活動、福祉行事運営活動、高齢者施設慰問、その他地域事業の補助

本校の特色

地域・生徒の実態に応じた目標↓目指す生徒像↓系列設定  
↓3年間を見通した計画↓地域素材等を生かした科目設定・行事等